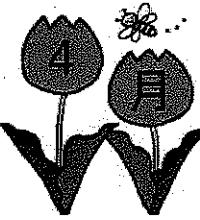


月刊

利根早石新聞



新しいスタートの月、4月
春の風に吹かれ、何か
× ウクウクするようなことか!...
キ 訪れるでしょうか??

みんなさんは、UFO(未確認飛行物体)を信じますか?!

又は、見たことがありますか。身近な人で見た人いますか？
私はついにそれらしき空を飛ぶ正体不明な物を見ました。
場所は、自宅の外。2月27日(金)夜8時52分。されば「ア」と言う間でした。
上空に強い光が流れるように南へ飛んでいりますか？
初めは流れ星か？と思いましてが、違う！色が真青で尾を引き
その数、五・六個、くの字にならんで、ものすごいスピードでした。そして
その後、青色から白色へ変化して、急に消えてしまったのです。
その光を見た瞬間まで1~2秒位でした。しばらくは
その場所で、空を見ましたが、何も現われず、静かでした。
あの光の正体は何だったのだろう。もしかしてUFO？
私の目にあの時の光、出来事は忘れられないし、又、見たい。
ついでに、この時、情勢がさうしたと聞かせ下さい。
うん~

↑ 今日は馬喰町SSスタッフの小林政春さんに
最近の出来事を書いてもらいました。答



3月の卒業式の最後のホームルームで、担任の先生が"中学校3年間の写真をDVDにまとめてくれました。子供達もそうでしたが、親は泣いていた方がほとんどでした。とても心温まるサプライズに感激!特に中1の時と中3になっての顔や姿までを一人一人写して下さいました。大きくなつた子供達にまたも感動!!先生ありがとうございました!!そして4月! 7日は中学校の入学式! 8日は高校の入学式! 母は頑張ります!!

* 5 Feb - 1/3 *



先日、三男が「……携帯がアイポットを買って〜」とせがまれました。名上のお兄ちゃん達にも買ってあげていいし、必要もないし…。どうして突然言いたいのかと思つたら、お友達がほとんど持つていて、ラインで連絡しあっているようです。学校でも持たせない運動をしていますが… 実際は持つている人がとても多いのが事実です。連絡(遊び)するなら家の電話もあるし、高校生になるとダメと納得させました。時代の流れでしょうか?? 困りほして

利根日石新間(平成27年4月号)

「プレミア買取単価」って何?

～電力システム改革と太陽光発電のこれから～

前回お伝えした「電力システム改革」、いかがだったでしょうか?

細かいことはともかく「電気を供給する体制ががらりと変わる」ということは伝わったでしょうか?

今回はその「電力システム改革」により太陽光発電業界で新たに生じた変化、「プレミア買取単価」の開始についてお伝えたいと思います。

昨年末くらいから、ソフトバンク(SBパワー)やパナソニック、オリックスなどの会社が東電などの電力会社が買い取っている単価に+1円して買取るサービスを開始しました。これがいわゆる「プレミア買取単価」です。例えば、ソフトバンクの場合、東電の買取単価に+1円して買取っています(殆どの会社が+1円)。太陽光を昨年設置したご家庭の場合、東電単価が37円/kWhなので電気の売り先を東電からソフトバンクに切り替えるだけで+1円/kWhの38円/kWhとなります。一般家庭の普通の大さな4kW程度の太陽光の場合、年間発電量はおおよそ5,000kWhとなるので(沼田市内、パナソニック製の場合)、+1円のプレミア単価に切り替えることで年間5,000円程度お得になります。この額では大きな違いに感じられないかもしれませんか、買い取り期間である10年間で比べると50,000円の違い、出力5kWなら62,500円、8kWなら10万円の違いとなり、長い目で見ると大きな違いとなります。

そもそも、どうしてこのようなサービスが生まれたのでしょうか?

「電力システム改革」によって、既存の大手電力会社以外にも電気を供給できる会社が出てくることは前号でもお伝えしましたが、その会社(「新電力」と呼ばれる)は新たな電力市場に参入して、電気の担い手となるために、供給するための電気を確保しなければなりません。いくら電気の売り先を沢山抱えていたとしても、自ら確保している電気(発電能力)の±3%以内でしか供給することが出来ず、それを上回っても、下回っても大きなペナルティを果たさなければなりません。莫大な費用が発生する上に建設期間も長く来年の自由化には間に合いません。そこで目をつけたのが、ここ数年で爆発的に普及した太陽光発電です。

ですから、ソフトバンクやパナソニック、オリックスなど大手新電力各社は来年の自由化を契機に大々的に電気を販売していくことになると、それに見合った電気(発電能力)を確保する必要があるのです。そのためには大きな発電所を建設しないといませんか。莫大な費用が発生する上に建設期間も長く来年の自由化には間に合いません。そこで目をつけたのが、ここ数年で爆発的に普及した太陽光発電です。

従来、太陽光発電は天気次第で発電量が大きく左右される、言ってみれば「あてにならない電源」と言われてきました。しかし、全国の160万世帯の屋根に太陽光が設置された現在はどうでしょう? 北海道で雪が降り積もる日でも九州では晴れているかも知れません。つまり、日本のどこかで雨が降って発電が止まても広い日本、84の地域では晴っていて発電できることです。こう考えると太陽光はもうや「あてにならない電源」ではなくなります。

だから、大手新電力は捕って全国で太陽光の電気を買いたがっているのです。その中でも異色なのがNTTスマイルエナジーという会社です。NTTとオムロン出資会社ですが、この会社が開発した「エコめがね」という遠隔監視システムを設置すると、+1.5円のプレミア単価で買取るサービスを始めました。先ほどの例で言えば4kWで75,000円、5kWで93,750円、8kWで150,000円の違いが出てきます。しかも遠隔監視システムなので、パソコンやスマートなどインターネットに繋がれば何處でも発電状況が確認出来ます。このように「電力システム改革」によって太陽光発電にも様々な選択肢が開けてきたと言えそうです。

今年度の買取単価、決まる!! 补助金も決定!!

平成27年度 太陽光買取単価

一般住宅 → 33円(東電・中電・関電圏内)
(~10kW)

産業用 → 29円(7月より27円)
(10kW~)

*それ以外の地域は35円

補助金 *一般住宅用

群馬県
1kWあたり ¥13,000(上限¥50,000)

沼田市
1kWあたり ¥15,000(上限¥70,000)



一般住宅用は
材料費も下りて
ますより、まだまた
高い収益を生みます!